

「フードバンクさんが来きた」と施設長の長久浩二

現在、隔週1回の割合で届く食品はパンから野菜、

たで」。神戸市東灘区にあ

さん(68)はいう。「うちはご近所からいた

る児童養護施設、神愛子供

お菓子、果物まで様々。中

ホーム。特定非営利活動法

だき物をする人が多い。でも子どもたちに喜ばれる

人(NPO法人)、フード

こういふものですと名のつ

バンク関西(兵庫県芦屋市)

のはクロワッサンなどのパ

の女性ボランティアがワゴ

ン類やドーナツといったお

ン車で食品を届けると、居

菓子類、バナナやパイナッ

合わせた子どもたちが協力

プルなどの果物だ。

して施設の中に運び込ん

だ。

ここで暮らすのは4〜20

歳までの28人で、半数が小

中学生。病気などで「親が

家庭で扶養できない」とし

て児童相談所から送られて

きた子どもたちだ。

神愛子供ホームが2000

3年4月設立のフードバン

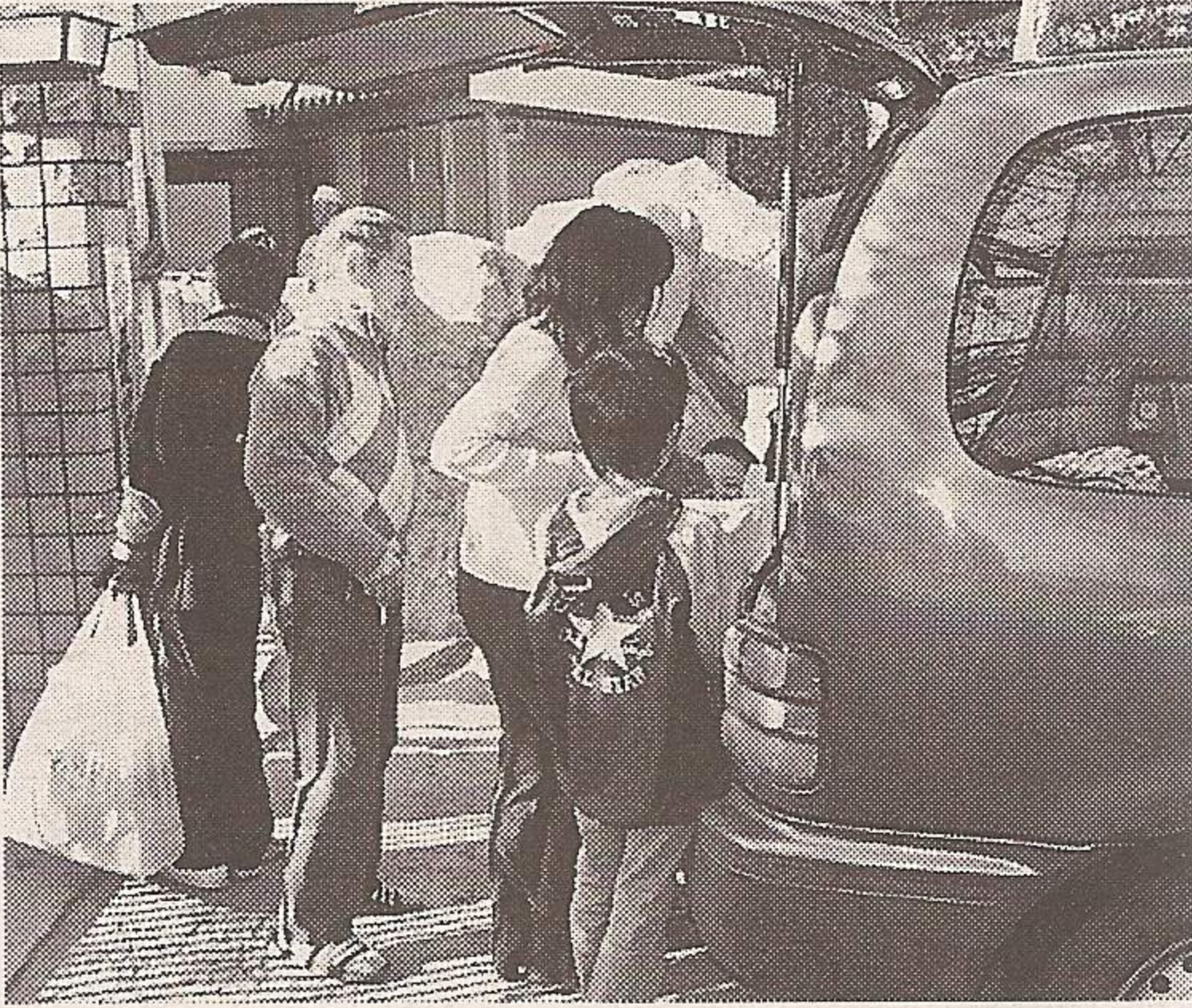
ク関西から食品を受け入れ

るようになったのは数年

前。「ボランティアの人が

フードバンク事情

③



届いた食品を運び込むのを手伝う神愛子供ホームの子どもたち

受け取る食品は「宝物」

「うちは調理職員の勤務

しまい、余裕がない」

時間の関係から夕食が午後

同ホームに食品を届ける

6時と早い。だから9時ご

フードバンク関西は09年、

ろになると中高生が「腹減

障害者施設(38カ所)など

った」といつてきてパン類

62の施設・団体に対して国

はすべて夜食に消えてしま

内のフードバンクで2番目

ろ」と長久さん。「小さな

に多い約110トの食品を

子はお菓子が大好き。先だ

届けた。

ってはマフィンを冷蔵庫に

理事長の藤田治さん(61)

入れておいたら箱ごとなく

は「うちが無償で食品を提

なったし果物はいくらあっ

供すること施設側は手す

ても残らない」と笑う。

りや階段を整備できたし、

もちろん子どもたちが喜

つらい目にあってきた子ど

ぶ顔を見るのはうれしい

もたちが昼食でデザートな

どを食べることができるよう

になった」と指摘する。

う。購入しないですむお

児童養護施設や母子支援

施設など生活弱者が暮らす

施設や団体にとって、フー

ドバンクから譲り受ける食

品は施設の運営上も、かけ

がえのない「宝物」になっ

ている。

広角鋭角